

☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

平成30年9月7日 VOL. 70

介護サービスを支える“多職種”で研修が行われています

ケア研としだ介による合同研修の開催

平成30年8月23日(木)生涯学習センターにおいて、ケアマネ支援研究会(以下「ケア研」としだ介)合同による研修会が開催されました。この合同研修は、ケア研及びしだ介の会員が、事業所や個人の質の向上を目指すことを目的に毎年開催され、今年は「コミュニケーション～もつれた糸をほぐしませんか～」と題し、利用者とのコミュニケーションの大切さを改めて学ぶことをテーマとした研修でした。あいにくの天気の中、およそ100名の参加者がホールを埋め、講師の話に熱心に聞き入っていました。



講師は、NPO法人ホットスペース中原代表で主任介護支援専門員でもある、佐々木 炎(ささき ほのお)氏(右写真)で、「人間としての尊厳を認識する」ことや「福祉は人の痛みへの共感で成り立つ」ことの理解により、利用者本位のケアが行えることや信頼関係が生まれることを、事例を通して参加者に講演しました。講演中、参加者同士による意見交換(右下写真)が行われ、互いに自分の考え方や思いについて話し、参加者には意識の向上を図る機会となりました。



ケア研としだ介ってどんな団体？

ケア研は、ケアマネジャー業務の質の向上を図ることを目的に、普段個別で業務にあたるケアマネ同士が集まり自己研鑽をしたり業務をする上で取り組みやすい仕組みづくりをみんなで考えたりしています。

しだ介は、藤枝市・焼津市・島田市内の介護サービス提供事業所が会員となり“横のつながり”を図り、スキル向上や知識の習得を目指した研修や、藤枝市内の主に小中学校を対象とした福祉教育等を行っています。

まだまだ注意が必要！熱中症・脱水症の予防

平成30年8月22日に行われた『通所サービス事業所連絡会』で「熱中症と脱水の予防」について市立病院 地域医療連携室の中山龍二看護師が講義をしました。

熱中症や脱水症は、繰り返して起こる確率が高く、一度かかったことのある人は、より注意が必要であることや、水分制限のある人の対策など、高齢者の状態に合わせた熱中症の対策について学び業務に活かしていきます。

